

# APACにおける 二輪モビリティの動向

主要トレンドと二輪ライダーの行動



# エグゼクティブサマリー

マッピングおよびロケーションデータ分野の世界的リーダーである HERE Technologiesは、地図および位置情報サービス業界に特化したコンサルティング企業Point Consultingと連携し、世界で最も大規模かつ多様な二輪ライダー人口を抱えるアジア太平洋(APAC)地域における二輪モビリティの実情をより深く理解するための調査を実施しました。本調査には、中国、インド、インドネシア、日本、タイ、ベトナムの6カ国から2400人以上の二輪ライダーが参加しており、正確なナビゲーション、効率的なルーティング、移動時間予測が生計に直結するギグワーカーや配送ライダーも多数含まれています。

## 調査方法

本調査は、2026年第1四半期にAPAC地域の二輪市場を対象として実施されました。主要都市および地方都市、ならびに農村部の二輪ライダーを対象に定量調査を行い、ギグ、配送、EV(二輪EV)セグメントを含む、18歳以上(55歳以上を含む)の男女を調査対象としています。定量調査の結果を補完するため、業界専門家7名への詳細な定性インタビューに加え、モビリティ、電動化、都市化といった地域全体のトレンドを踏まえた広範なデスクリサーチも実施しました。



## なぜこの調査が重要なのか

APAC地域における二輪モビリティ環境は、急速に変化しています。Eコマースの拡大、交通渋滞の深刻化、電動化の進展、そして安全性への期待の高まりが、移動の在り方そのものを大きく変えつつあります。一方で、こうした重要性にもかかわらず、二輪ライダーがどのように行動し、何を求めているのかについては、十分に理解されていません。本調査は、二輪車OEMや業界パートナーが、ライダーの安全性・安心感・効率性を高めるソリューションを構築するための示唆を提供します。

本調査は、以下の項目について、独自かつデータ主導の知見を導き出すことを目的として設計されています：

- 二輪車の各セグメントにおけるナビゲーション利用パターン
- 道路状況、ルーティングへの信頼度、交通リスクに関連する安全性の認識
- 特に、ナビゲーションの品質が収入に直接影響するギグワーカーや配送ライダーにおける経済的影響
- ルーティング、危険警告、交通インテリジェンス、二輪車特化ガイダンスに対する機能の優先度
- 二輪EVの初期普及指標を含む、電動化への対応状況



# 序文

APAC地域において、二輪車は単に人々をA地点からB地点へ移動させる手段ではありません。日々の生活を支え、小規模ビジネスを動かし、都市モビリティを可能にし、地域の物流およびラストマイル経済の中核を担っています。多くの都市では、二輪車はレジャー用途にとどまらず、都市機能と商取引を日々支える不可欠なツールとなっています。

モビリティへの期待が高まる中で、二輪ライダーの移動を支えるシステムへの依存も強まっています。これには、ロケーションインテリジェンス、ナビゲーション、ルーティングといった技術が含まれます。これらのシステムは、交通状況を読み取り、危険なルートを避け、予定通りに移動するための判断を支えています。

本調査は、二輪ライダーの行動や価値観、そして走行中に生じている課題を明らかにすることで、二輪車メーカー、モビリティプラットフォーム、物流事業者、政策立案者にとって実行可能な示唆を提供します。

また、高品質な地図データ、リアルタイムの交通および環境インテリジェンス、意図を理解したルーティング、次世代ナビゲーションソリューションの重要性が高まっていることも示しています。



## Deon Newman

アジア太平洋地域シニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー  
HERE Technologies

# 主な調査結果

APAC地域における二輪モビリティは、高密度な交通、複雑な道路ネットワーク、ならびに日常的に変動する走行環境を背景に成り立っています。こうした環境下において、ナビゲーションは多くの二輪ライダーにとって、安全性と収益性の確保に直結する重要な役割を担っています。本調査は、地域内の市場に共通する傾向に加え、市場の成熟度やインフラ条件の違いによる差異を示しています。

## ナビゲーションは日常の移動と収益確保に不可欠

6カ国すべての市場において、ナビゲーションの評価は利便性よりも、収益性、効率性、ストレス軽減と強く結び付いています。中国、インド、インドネシア、タイ、ベトナムでは二輪ライダーの満足度が高く、ルーティング精度、到着予想時刻(ETA)、リアルタイム更新への強い依存が確認されました。これは、ナビゲーションの品質が業務を効率的に完了できるか、あるいは時間や収入を失うかに直接影響していることを示しています。

## 二輪ライダーは信頼性を最優先する

調査結果から、二輪ライダーは正確なルーティング、ETA、分かりやすい案内といった基本的な機能要件を、先進的または実験的な機能よりも一貫して高く評価していることが分かりました。人工知能(AI)、拡張現実(AR)、自動化といった技術に対する関心は、それらが信頼性、安全性、または判断の確信を高めると認識された場合にのみ現れ、単に新しい技術であるという理由だけでは、重要視されていません。

業界専門家は過度な機能追加に懸念を示しており、機能拡張は信頼を強化し、精神的負荷を軽減する場合にのみ成功すると指摘しています。二輪ライダー体験を複雑にしたり、不確実性をもたらす技術革新は採用されにくい傾向があります。





### 安全性と生産性は本質的に結び付いている

安全性への不安は、二輪ライダーの行動だけでなく、収入にも直接影響します。不正確なナビゲーションは、配送の遅れや判断ミスにつながり、結果として配送サービスの収益を下げてしまいます。配送業務の完了によって生計を立てている多くの二輪ライダーにとって、危険な近道、不正確な位置情報、誤ったETAが提示されると、安全リスクが高まるだけでなく、日々の収入も減少します。

専門家によると、二輪ライダーは安全で先の状況が予測しやすいと感じられる場合には、多少遠回りであってもそのルートを受け入れる傾向があります。これは、ルートの評価が理論上の効率ではなく、実際に走行して安心できたかどうかという体験結果によって行われていることを示しています。

### 市場の成熟度は利用パターンに影響するが、基本的な期待は共通している

6カ国すべての市場で、二輪ライダーはナビゲーションの重要性を認識していますが、使い方には市場ごとに違いがあります。中国や東南アジアでは、ナビゲーションが日常の走行に深く組み込まれており、強く依存されています。一方インドでは、移動の負担を減らし、収益性を高める手段としてナビゲーションが評価されています。日本では、道路整備が進みルートへの習熟度も高いため利用頻度は比較的低いものの、精度に対する期待は調査対象となった市場の中で最も高いという結果となりました。

これらの違いは、ナビゲーションへの需要の差ではなく、市場の成熟度の違いを示しています。利用頻度にかかわらず、二輪ライダーは共通して、正確さ、分かりやすさ、信頼性、そして状況に応じた案内を求めています。

# 二輪ライダーが直面している 主なルーティング課題

6カ国共通で、最も多く挙げられた問題は、通信およびデータの信頼性、複雑な道路環境における地図精度、実行段階での案内品質の3点に集約されました。調査実施前の4週間において、ルーティング上の問題がまったくなかったと回答した二輪ライダーは、全体の18%にとどまっています。

GPS信号が弱い

40%

更新遅延／交通情報が表示されない

27%

存在しない道路に案内された

26%

建物未反映／誤った建物・住所に案内

25%

二輪車向けルートが不正確

22%

路地・非公式道路が反映されていない

20%

通行止め・工事情報が未反映

20%

リアルタイム更新されず遅延

19%

危険な近道が提案された

18%

誤った曲がり案内

18%

レーン案内が分かりにくい

14%

ルーティングの問題なし

18%

## 渋滞時の走行に役立つナビゲーション機能

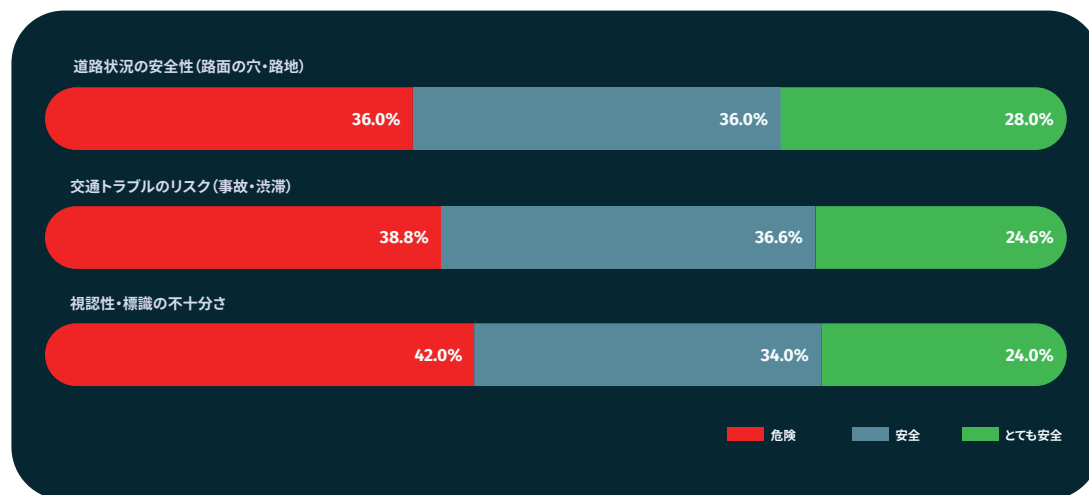
交通渋滞時に効率的に走行するために役立つ機能について尋ねたところ、調査対象地域全体で、交通状況に応じてリアルタイムにルートを変更する仕組みが最も重要であるという点で意見が一致しました。交通情報に基づく即時ルート切り替えが37%で最も高く、次いで二輪車に適した近道の通知が27%となりました。到着時間の予測表示は14%にとどまり、危険警告や車線の位置や進行方向を分かりやすく示すレーンレベル案内は一桁台の優先度にとどまっています。



## 道路状況の悪化に伴い、安全性の認識は大きく低下する

走行環境が複雑になるにつれて、ライダーが感じる安全性は段階的に低下します。慣れた道路や通常の通勤環境といった標準的な条件下では、64%のライダーが「安全」または「とても安全」と感じていると回答しています。一方で、視界不良や道路状況が分かりにくい環境では安全性の低下が最も顕著で、42%のライダーが「危険だと感じる」と回答し、「とても安全」と感じているライダーは24%にとどまっています。

これらの結果は、ライダーが日常的な走行環境や、ある程度の交通変動には対応できている一方で、視界や標識といった重要な視覚情報が損なわれると、安心感が大きく低下することを示しています。



## 市場ごとに異なる二輪ライダー満足度 (期待値と課題が影響)

調査対象となった二輪ライダーは、全体としてナビゲーションに対して高い満足度を示していますが、期待値や課題は市場ごとに大きく異なることが分かりました。

- **インドネシア**および**タイ**では、平均満足度が**8.18/10**と最も高く、**42%**の二輪ライダーが「非常に満足している」と回答しました。
- **中国**は**8.13/10**、**47%**が非常に満足と続いており、ナビゲーションへの高い信頼が示される一方、日常利用が定着するにつれて期待値も高まっています。
- **インド**では平均満足度**8.03/10**、**40%**が非常に満足と、堅調ながら慎重な評価が見られました。二輪ライダーは頻繁にナビゲーションを利用しているものの、時間、コスト、信頼性に影響するギャップには敏感です。
- **ベトナム**は厳しい走行環境にもかかわらず、**7.95/10**の高い満足度を維持しており、**39%**が非常に満足、**15%**のみが不満と回答しています。
- **日本**は、調査対象となった地域の中で最も満足度が低い結果となりました。平均スコアは**6.38/10**で、「非常に満足」と回答したライダーは**8%**にとどまっています。日本のライダーの約半数が不満を感じている層に分類されていることから、日本のライダーがナビゲーションを、より高い基準で評価していることを示しています。整備された道路網やルートへの高い習熟度、複雑な都市部の交差点環境を背景に、精度、予測性、そして一貫性に対する期待が特に高いことが、この結果につながっていると考えられます。

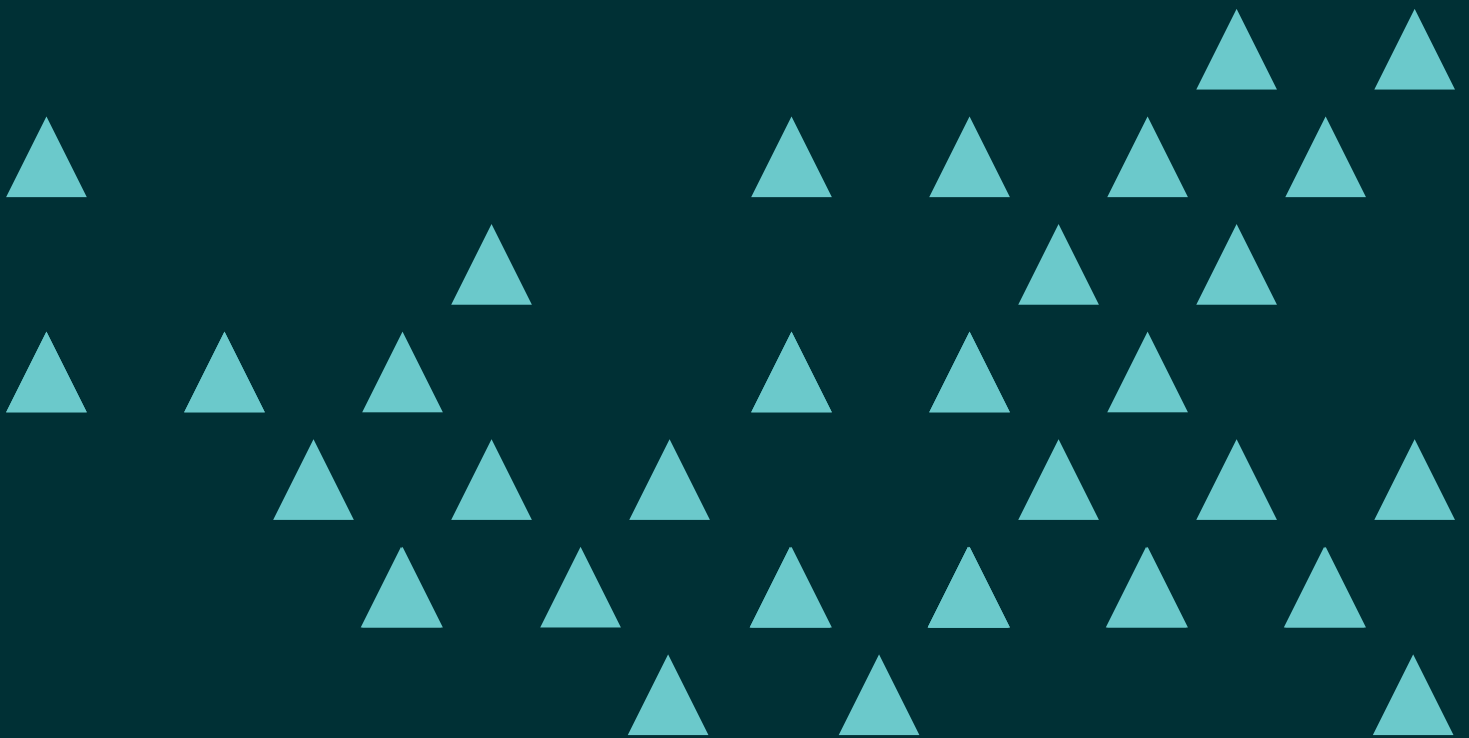
### 平均満足度(10点満点)



# 市場別の 主な調査結果

APAC地域では、国や地域によって道路環境や  
二輪ライダーの行動が異なります。

ナビゲーションに求められる基本的な期待は共通  
している一方で、使われ方や改善すべき点は  
市場ごとに異なります。



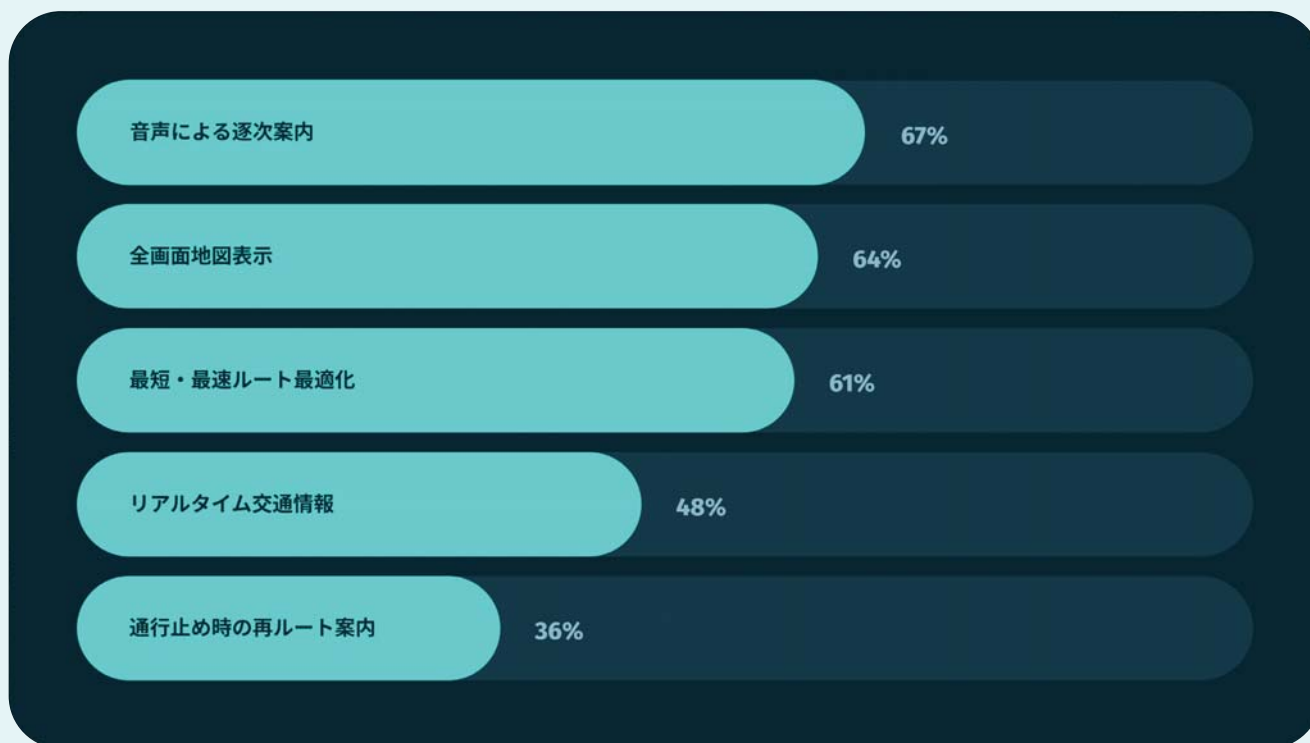
# インドネシア市場の概要

インドネシアの二輪ライダーにとって、ナビゲーションは、混雑し変化の激しい環境の中で移動を滞りなく進めるために重要な役割を果たしています。二輪ライダーは、単にルートを把握するためだけでなく、渋滞の中でも走行の流れを維持し、配送業務の負荷を管理し、国内でも特に混雑する都市部において収入の予測性を保つためにナビゲーションに依存しています。調査では、48%の二輪ライダーがナビゲーションを「頻繁に」または「常に」利用していると回答しており、日常に欠かせない存在であることが示されています。

「インドネシアの二輪ライダーにとって、遅延は連鎖的に影響を及ぼします」と、HERE Technologies東南アジアおよびインド地域ゼネラルマネージャーのAbhijit Senguptaは述べています。「ナビゲーションは、混雑した交通環境の中で配送を滞りなく進め、不要な遠回りを減らせるかどうかによって評価されます。配送ライダーはETAの精度や遅延に敏感であり、一般のライダーは安全にルートをたどれる音声案内を重視しています」



## 二輪ライダーが求めるナビゲーション機能



67%の二輪ライダーが音声案内を最も価値のある機能と考えています。ナビゲーションの分かりやすさや状況把握を高めるナビゲーション機能が特に高く評価されています。調査対象の二輪ライダーは、安全性や走行パフォーマンスに関わる情報にも強い関心を示しており、56%が盗難警告を重要な機能として評価し、53%が走行追跡およびパフォーマンス統計を価値ある情報として挙げています。

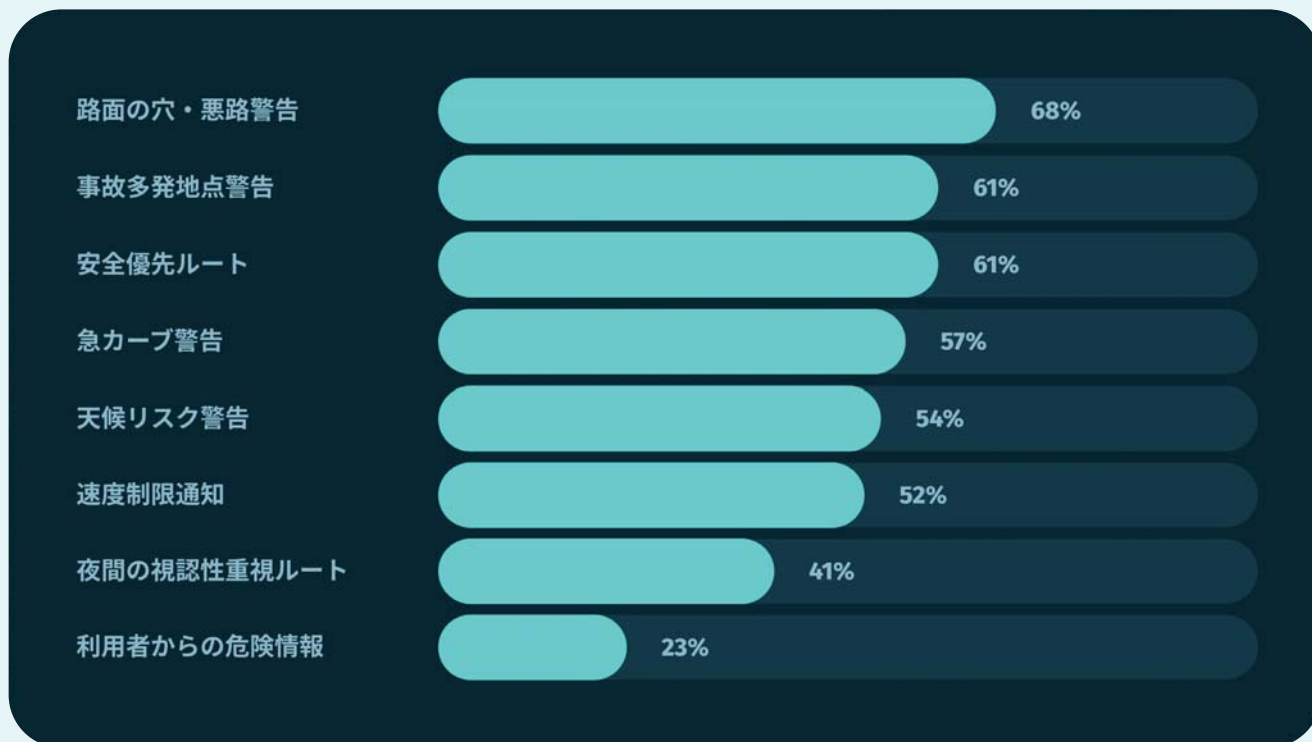


### ギグワーカーおよび二輪配送ライダーへの影響

ナビゲーションの品質は、配送を基盤とする収入に直接的な影響を与えています。二輪ライダーが挙げた最大の課題は移動時間予測の不正確さであり、次いで不適切なルーティングによる遅延、さらにナビゲーションが提示する危険な近道が、二番目および三番目の課題として挙げられました。

## 安全関連の地図機能に対する二輪ライダーの嗜好

インドネシアの二輪ライダーは、日常の走行環境に対応するために、物理的な道路インフラとデジタルガイダンスを組み合わせ活用しています。一方で、道路の視認性が低下したり、標識が不十分または分かりにくい場合には、安心感が大きく損なわれます。こうした状況では、不確実性を低減し、早い段階で注意喚起を提供するナビゲーション機能がより重視され、特に事故多発地点の警告や、リスクの高いルートを回避するためのルーティングオプションが高く評価されています。



## 二輪配送ライダー特有のニーズ

インドネシアの二輪配送ライダーは、何よりも信頼性の高いETAと安全なルート提案を重視しています。31%の二輪ライダーがこれを最優先の要件として挙げており、これは調査対象となったすべての市場の中で最も高い割合です。



インドネシアの二輪ライダーが新しい二輪車を選ぶ際にも、同様の実用性重視の傾向が見られます。長期的な運用コストと製品の信頼性が重要であることを示しています。71%の二輪ライダーが燃費性能と航続距離を最優先事項として挙げ、58%が価格と手頃さを重視し、35%がモデル選択においてナビゲーション機能を考慮していると回答しました。これは、コスト、信頼性、そしてデジタル機能性の重要性を反映しています。

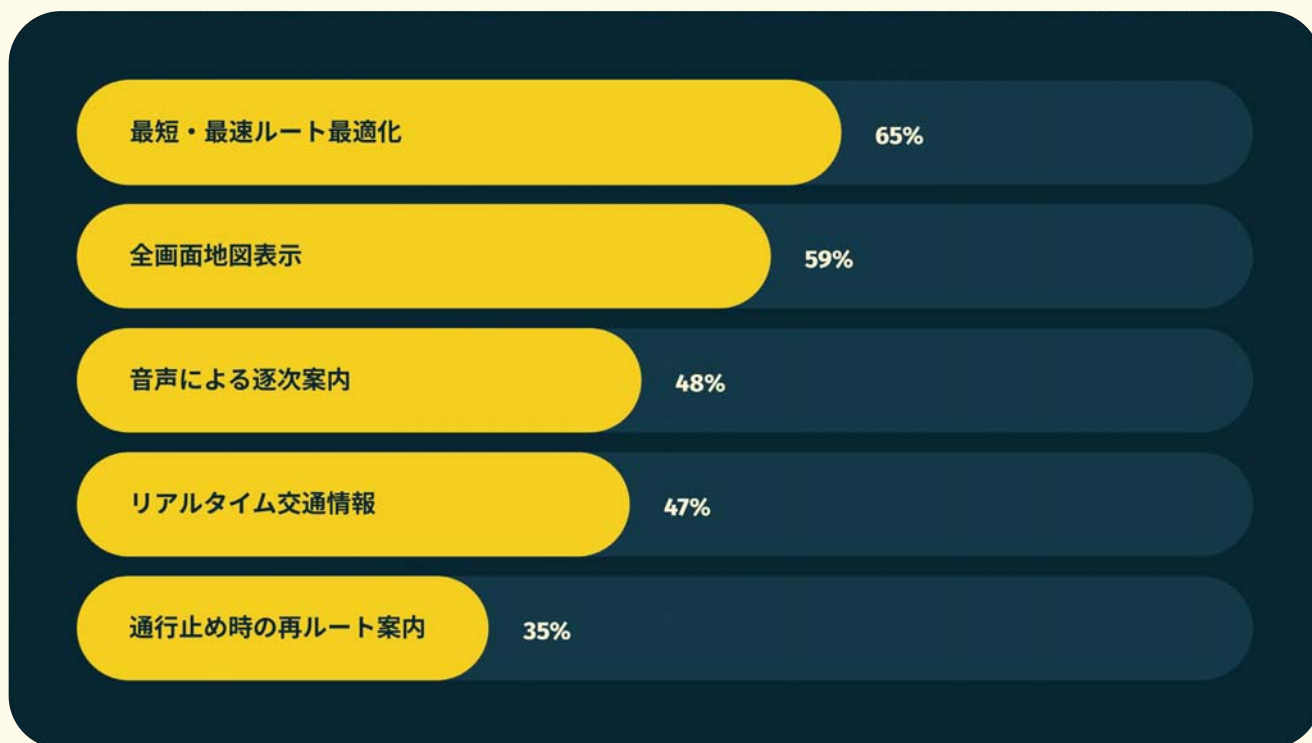
# タイの市場概要

タイでは、複雑な道路環境、変わりやすい天候、大型車両の多さが重なり、二輪ライダーは厳しい条件での走行を強いられています。

そのため、ナビゲーションは単なる案内手段としてだけでなく、リスクへの曝露を減らすためのツールとして活用されています。調査結果は、安全性に対する懸念が常に存在する走行環境において、二輪ライダーが先の状況を予測できる手段を求めていることを示しています。51%の二輪ライダーがナビゲーションを「頻繁に」または「常に」利用していると回答しており、デジタルガイダンスが不確実な状況を管理するうえで重要な役割を果たしていることが分かります。

「タイの二輪ライダーは、厳しい交通状況、天候、道路環境が入り混じる中で日常的に走行しています」と、**HERE Technologies 東南アジアおよびインド地域ゼネラルマネージャーの Abhijit Sengupta**は述べています。「効率性は引き続き重要である一方で、ライダーは、リスクを事前に察知し、不確実な状況の中でも安全に走行できるよう支援するナビゲーションを強く重視しています」





65%の二輪ライダーが、ルート最適化を最も価値のある機能と考えています。二輪ライダーは、安定した安全な走行を支える補助的な機能を明確に重視しており、56%が盗難警告を重要な機能として評価し、51%が天候情報や危険情報の更新を重視しています。これは、本調査対象国の中で最も高い割合です。

これらの嗜好は、二輪ライダーが日常的に直面している課題をそのまま反映しています。71%の二輪ライダーは、路面の穴や破損した道路によって不安を感じると回答しており、69%は大型トラックやバスを大きなストレス要因として挙げています。照明の不十分さや予測しにくい運転行動も、こうした不安感をさらに高める要因となっています。

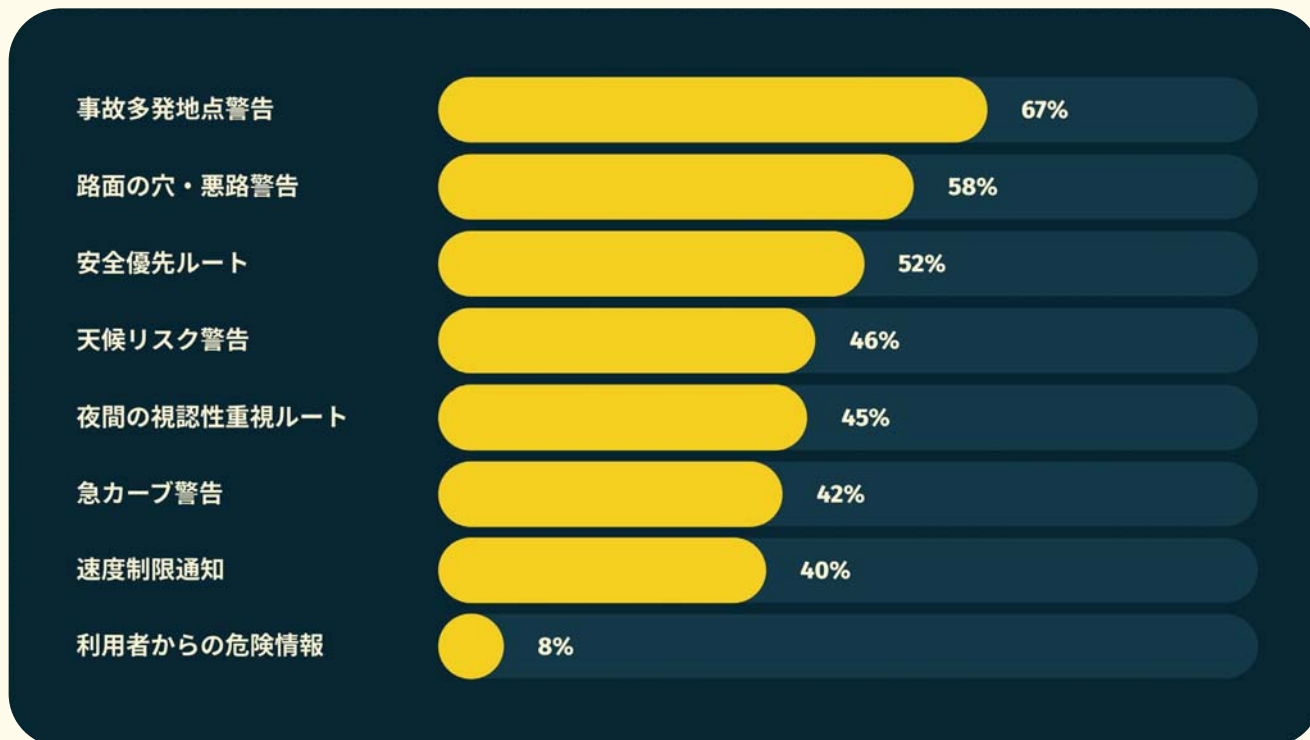


### ギグワーカーおよび配送ライダーへの影響

ギグワーカーや配送ライダーにとって、ナビゲーションシステムが提示する危険な近道は大きな課題となっています。これに移動時間予測の不正確さが重なると、業務効率が直接的に損なわれます。最も大きな課題として挙げられたのは、ナビゲーションが提案する危険な近道であり、次いで不適切なルーティングによる遅延、そして到着予測時刻の不正確さが続いています。

## 安全関連の地図機能に対する二輪ライダーの嗜好

これらの問題は、ピーク時間帯や悪天候時など、時間的な余裕が限られる状況でさらに深刻化します。事故多発地点の警告や、より安全なルートを提案する機能など、事前に注意喚起を行うツールは、走行中の安心感を維持するうえで有効です。



### 配送ライダー特有のニーズ

配送ライダーの間では、より安全なルート提案が最も重視されており、33%のライダーがこれを最優先事項として選んでいます。次いで、最適な複数地点ルーティングが31%、リアルタイムの危険警告を求めるライダーが13%となっています。これらの結果は、ライダーがリスクを抑えながら、多くの配送を効率的にこなせるルーティングを重視していることを示しています。

また、新しい車両を選ぶ際にも、実用的な観点がライダーの意思決定に影響しています。

56%が燃費性能と航続距離を最重要視し、52%が価格と手頃さを重視しています。

さらに、27%のライダーは、ナビゲーション性能が車両選択に影響すると回答しており、ナビゲーションが重要な判断要素となっていることが分かります。

タイにおいては、配送ライダーの最優先事項は複数地点ルーティングの最適化で、32%がこれを選択しています。次いで、より安全なルート提案が24%、顧客からの苦情を避けるための正確な到着予測時刻（ETA）案内が18%となっています。これらの結果は、タイの配送ライダーが、複数の配送を効率的に管理することを最優先しつつ、安全性の向上や到着時間の信頼性を高めるルーティング機能も重視していることを示しており、いずれも顧客からの信頼を維持するうえで重要な要素となっています。

最適な複数地点ルーティング

32%

安全なルート提案

24%

正確な到着予測時刻

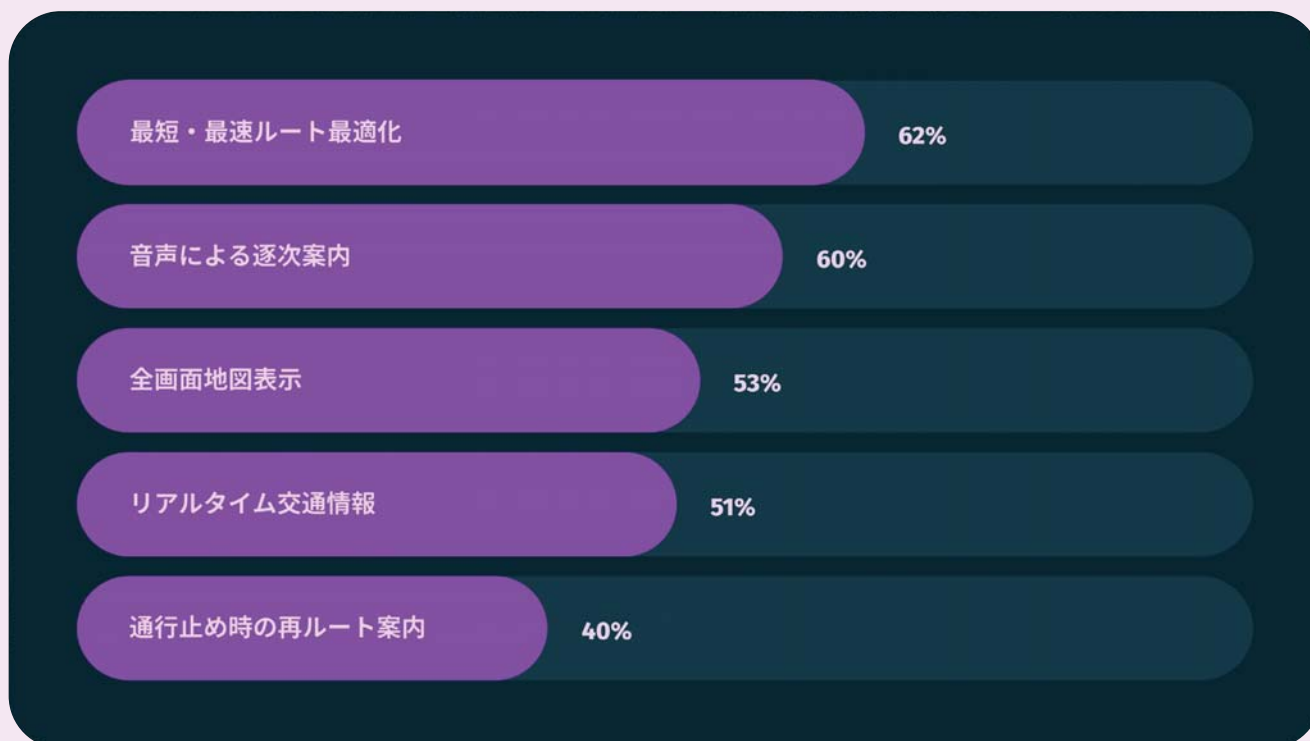
18%

# ベトナムの市場概要

ベトナムの都市部は、APAC地域の中でも特に混雑した環境にあります。二輪ライダーは、高密度な交通、非体系的な住所体系、そして継続的な配送業務によって形づくられた環境の中で走行しており、正確な道路案内が不可欠となっています。調査では、50%の二輪ライダーがナビゲーションを「頻繁に」または「常に」利用していると回答しており、複雑な道路ネットワークの中を円滑に走行するうえで、デジタルガイダンスの重要性が高まっていることを示しています。

「ベトナムの二輪ライダーは、アジアでも特に混雑し、急速に変化する道路環境の中を走行しています」と、**HERE Technologies 東南アジア地域自動車部門責任者のMunish Kumar Vermaは述べています。**「不確実性を減らし、収入を守り、正確な目的地へ導くナビゲーションこそが、信頼を獲得するのです」





62%の二輪ライダーが、ルート最適化を最も価値のある機能だと考えています。また、ベトナムの二輪ライダーは、予測が難しい環境でも方向感覚を維持できる機能を重要視しています。53%が盗難警告を価値ある機能と考えており、43%は大雨や洪水、道路状況の急激な変化に頻繁に直面することから、天候情報や危険情報の更新に依存しています。どのような状況で最も不安を感じるかを尋ねたところ、67%が突然の路面の穴や破損した道路を挙げ、66%が大型トラックやバスを大きなリスク要因として挙げました。

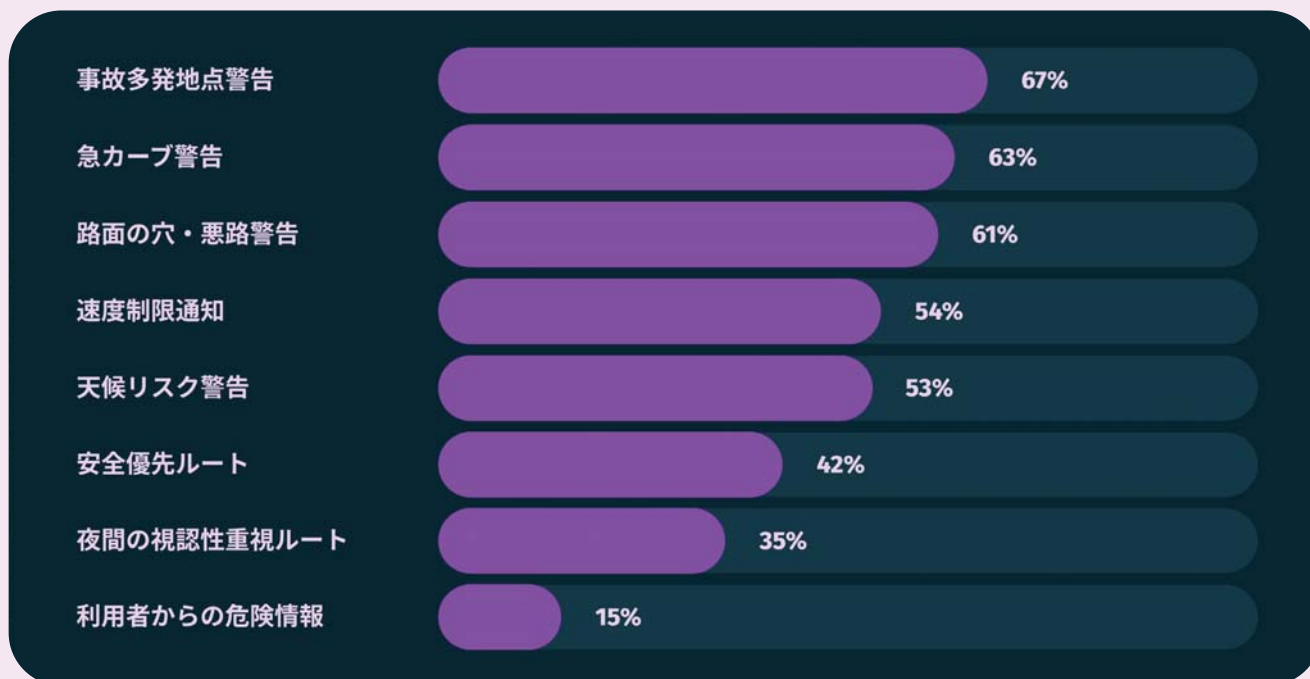


### ギグワーカーおよび配送ライダーへの影響

ギグワーカーや配送ライダーにとって、ルーティングの質の低さは最大の課題として位置付けられており、次いで移動時間予測の不正確さ、建物の入口を見つけにくいことが課題として挙げられています。

## 安全関連の地図機能に対する二輪ライダーの嗜好

急カーブ、見通しの悪い交差点、予測しにくいドライバーの運転行動は、常に高い注意力を求められる要因となっています。視認性や標識が不十分な状況では安心感が低下するため、事前に注意を促す機能へのニーズが高まります。特に、事故多発地点の警告や、より安全なルート提案は、どこで注意が必要かを事前に把握するうえで効果的です。



## 配送ライダー特有のニーズ

配送ライダーにとって、顧客からの信頼を維持するためには高い精度が不可欠です。28%の二輪ライダーが、遅延に関する苦情を避けるため、正確なETAを最も重視していると回答しています。24%は、状況の変化に応じた即時の迂回案内を求めており、20%は、多くの配送を効率的にこなすために、最適な複数地点ルーティングに依存しています。



また、ベトナムの二輪ライダーが二輪車を選ぶ際には、経済的な実用性が大きな影響を与えています。59%が価格と手頃さを最優先事項とし、58%が燃費性能と航続距離を重要な要素として挙げています。さらに、22%の二輪ライダーは、ナビゲーション性能が新しい二輪車の選択に影響すると回答しており、デジタル機能が購買判断においてますます重要な要素となっていることを示しています。

# インドの市場概要

インドの二輪ライダーは、高密度な交通、頻繁に変化する道路状況、そして長距離の通勤に対応するため、ナビゲーションに大きく依存しています。ナビゲーションシステムについても、道路状況や制約をリアルタイムでどれだけ正確に反映できているかという観点で評価する傾向が強まっています。調査では、61%の二輪ライダーがナビゲーションを「頻繁に」または「常に」利用していると回答しており、日常のモビリティにおいてデジタルガイダンスが重要な要素となっていることが示されています。

「インドの二輪ライダーは、実際の道路、実際の交通、そして実際の制約をどれだけ理解しているかでナビゲーションを評価します」と、HERE Technologiesアジア太平洋地域二輪部門責任者の **Shyam Shankar Raman** は述べています。「二輪ライダーは、急速に変化する状況に対応できるシステムを求めています」



## 二輪ライダーが求めるナビゲーション機能



61%の二輪ライダーが、リアルタイムの交通情報アラートを、フルスクリーン表示の地図と並ぶ最も価値のある機能の一つと考えています。インドの二輪ライダーにとって、リアルタイム情報は、ナビゲーション機能を評価するうえで特に重要な要素です。調査では、55%の二輪ライダーがリアルタイムの交通情報を役立つと感じており、45%は走行状況の把握やパフォーマンス情報に依存しています。この結果は、状況の変化をすぐに反映できる情報が、日常の走行を支えるうえで大きな価値を持っていることを示しています。



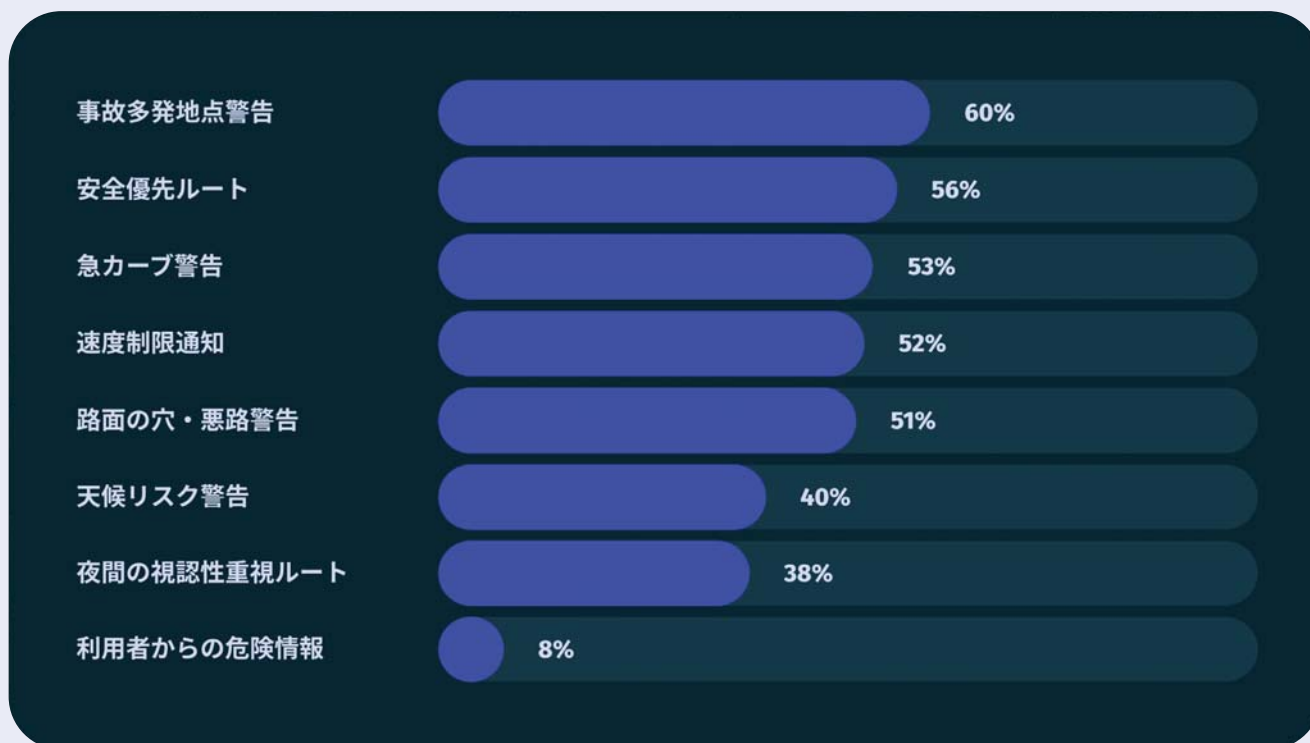
### ギグワーカーおよび配送ライダーへの影響

ギグワーカーや配送ライダーは、不適切なルーティングを最大の課題として挙げており、次いで移動時間予測の不正確さ、さらに危険な近道案内が二番目および三番目の課題として続いています。これらの要因は、収入や高交通量エリアを走行する際の安心感に直接的な影響を及ぼします。

## 安全関連の地図機能に対する二輪ライダーの嗜好

調査対象の二輪ライダーは、安全に走行するためには、道路や標識といった物理的な環境と、ナビゲーションによる案内の両方が重要だと考えています。しかし、標識が見えにくかったり、案内が分かりにくくなったりすると、二輪ライダーの安心感は大きく低下します。

このような状況では、事故が起こりやすい場所を事前に知らせる警告や、より安全なルートを示す機能が、走行中の判断を支えるうえで特に役立ちます。



## 配送ライダー特有のニーズ

配送ライダーは、より安全なルート提案を最も重視しており、36%の配送ライダーがこれを重要な要素として挙げています。これは、効率性とリスク管理の両立が求められていることを反映しています。次いで、最適な複数地点ルーティングが20%、即時の迂回案内を求めるライダーが19%となっており、いずれも多く of 配送をこなす環境下で信頼性を維持するために重要な機能です。



また、インドの二輪ライダーが新しい二輪車を選ぶ際には、実用的な観点で大きな影響を与えています。54%が燃費性能と航続距離を最優先事項とし、48%が価格と手頃さを重視しています。さらに、27%の二輪ライダーは、ナビゲーション性能が二輪車購入時の判断に影響を与えると回答しており、日常的な使いやすさと収益性の両面において、ナビゲーションの重要性が高まっていることを示しています。

# 中国の市場概要

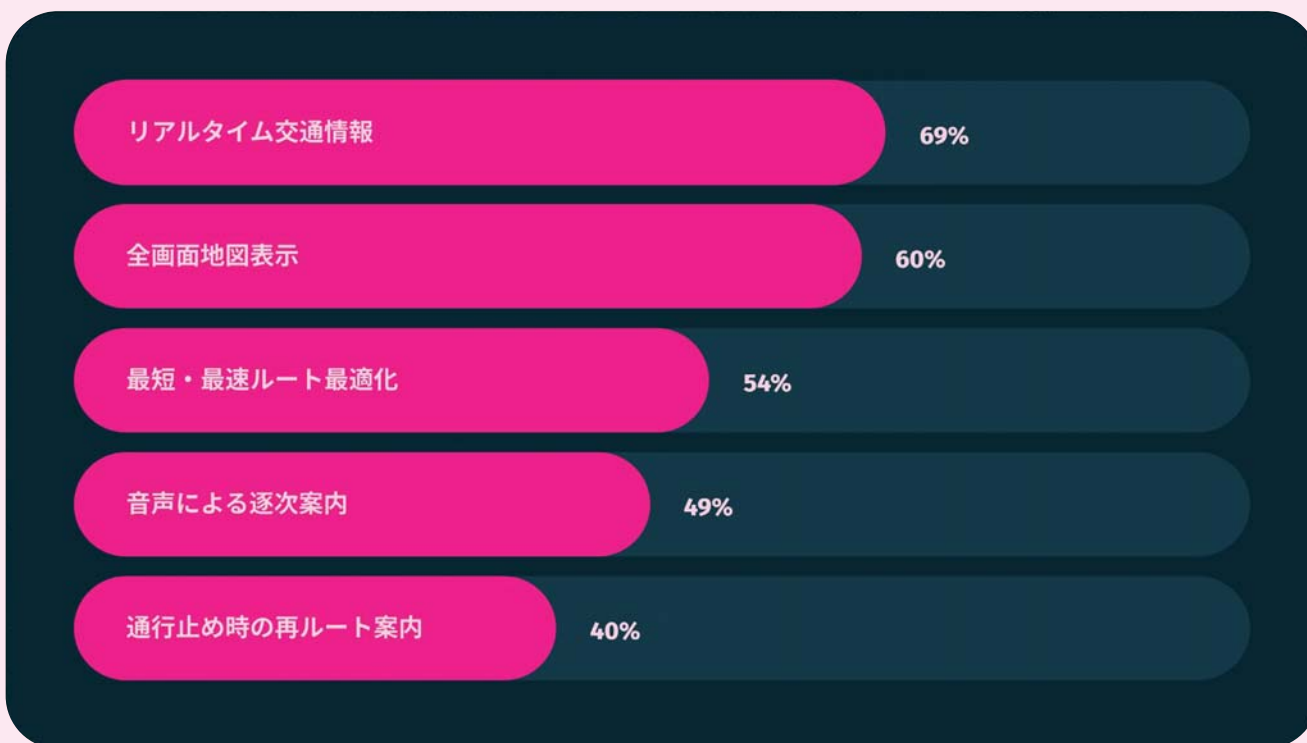
高い都市密度と日々の移動量の多さを背景に、中国の二輪ライダーは、日常の移動や業務を管理するためにナビゲーションに強く依存しています。調査結果からは、二輪ライダーがナビゲーションを単なる道案内のツールとしてではなく、安全性、信頼性、そして日常の生産性に直接貢献する存在として期待していることが分かります。70%の二輪ライダーがナビゲーションを「頻繁に」または「常に」利用していると回答しており、移動の管理や予測性の維持において、ナビゲーションが日常的なツールとして重要な役割を果たしていることを示しています。

「中国の二輪ライダーにとって、ナビゲーションはもはや受動的なツールではありません」と、**HERE Technologies中華圏地域ゼネラルマネージャーのエddie Ruan**は述べています。

「ナビゲーションは、時間管理を支え、資産を守り、複雑な都市環境の中をより高い安心感をもって移動することを可能にします」



## 二輪ライダーが求めるナビゲーション機能



69%の二輪ライダーが、リアルタイムの交通情報アラートを最も価値のある機能と考えています。中国では、調査対象となった二輪ライダーが、性能、安全性、リアルタイム情報を重視し、複数の補助的なナビゲーション機能を高く評価していることが分かりました。

59%が走行追跡やパフォーマンス統計を重視しており、54%は盗難警告を最も有用なナビゲーション機能の一つとして挙げ、46%がリアルタイムの交通情報更新を価値ある機能として評価しています。これらの嗜好は、渋滞、盗難への懸念、頻繁に変化するルートが日常の移動の一部となっている環境を反映しています。

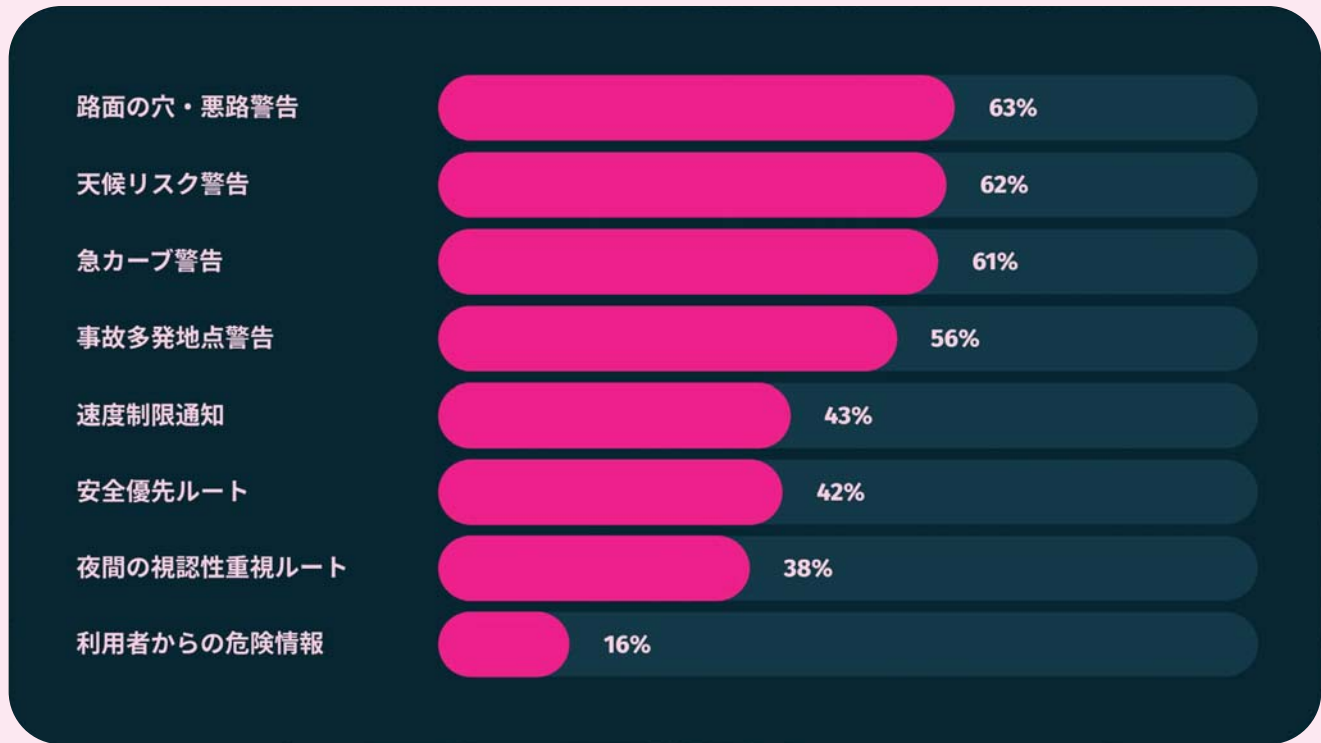


### ギグワーカーおよび配送ライダーへの影響

最も多く挙げられた課題は、建物の入口を見つけにくいことでした。これに続いて、到着予測時刻の不正確さ、不適切なルーティングによる遅延が挙げられています。

## 安全関連の地図機能に対する二輪ライダーの嗜好

デジタルガイダンスが物理的な道路インフラと一致している場合、二輪ライダーはより高い安心感を得る傾向があります。一方で、視認性や標識が限定的な状況では安心感が低下します。そのため、正確な地図情報やレーンレベルの精度の高い情報によって分かりやすいナビゲーションが評価されています。



## 配送ライダー特有のニーズ

配送ライダーの間では、最適な複数地点ルーティングが最も重視されており、38%の二輪ライダーがこれを最優先事項として選択しています。これは、調査対象となったすべての市場の中で最も高い割合です。次いで、正確なETAが21%、即時の迂回案内が16%となっており、いずれも多くの配送をこなす環境下で、業務の予測性を維持するために重要な要件となっています。



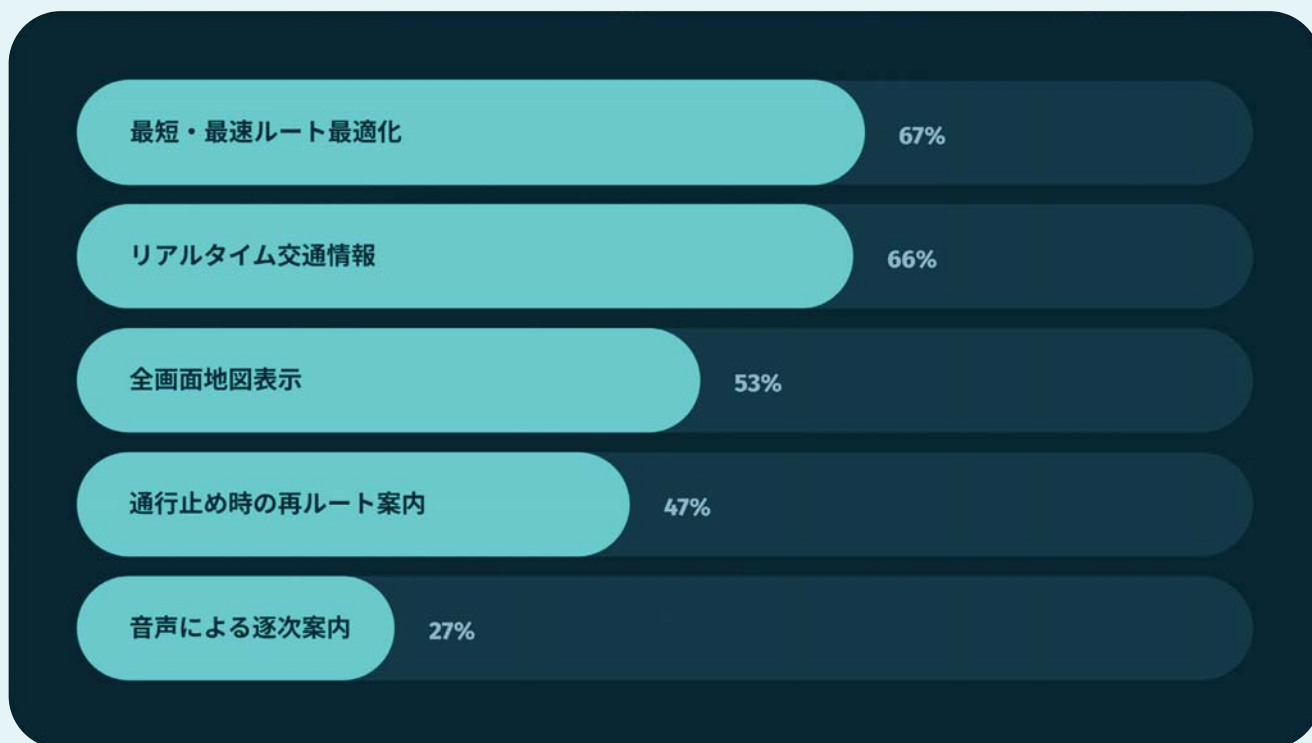
また、新しい二輪車の選択においても、実用的な観点が重視されています。50%の二輪ライダーが燃費性能と航続距離を優先事項として挙げ、同じく50%がブランドの信頼性を重視しています。これらの嗜好は、長期的な運用コストと製品耐久性への信頼が重要であることを示しています。さらに、34%の二輪ライダーは、ナビゲーションシステムの性能がどの二輪車を選ぶかに影響すると回答しており、ナビゲーション機能が意思決定において考慮されていることが分かります。

# 日本の市場概要

日本で調査対象となった二輪ライダーは、ナビゲーションに対して、精度や予測のしやすさ、分かりやすさを特に重視しています。ナビゲーション自体は一定程度利用されているものの、道路が密集し、交差点が複雑で、交通規制も厳しい日本の走行環境では、求められる水準が非常に高いことが分かります。実際に、30%の二輪ライダーがナビゲーションを「頻繁に」または「常に」利用しており、多くの二輪ライダーにとって、デジタルによる案内は日常の移動に欠かせない存在となっています。

「日本は、ナビゲーションが『信頼』に関わるものであることを改めて示しています」と、HERE Technologies日本カントリーマネージャーの枝隆志は述べています。「二輪ライダーの期待に応えるためには、正確で、その場の状況をきちんと反映し、常に一貫した案内が求められます。精度への期待が高い環境では、案内ミスや不正確なETAであっても、大きな影響を与えてしまいます」





67%の二輪ライダーが、ルート最適化を最も価値のある機能と考えています。調査対象の二輪ライダーは、性能、安全性、リアルタイムに交通状況を把握することに明確な重点を置き、補助的なナビゲーション機能を最も価値のあるものとして評価しています。51%の二輪ライダーが盗難警告を価値ある機能として挙げ、43%がリアルタイムの交通情報更新を重視しています。これらの結果は、整備された交通網で知られる市場においても、渋滞や予期せぬ出来事への対応が日常の移動において必要とされていることを示しています。

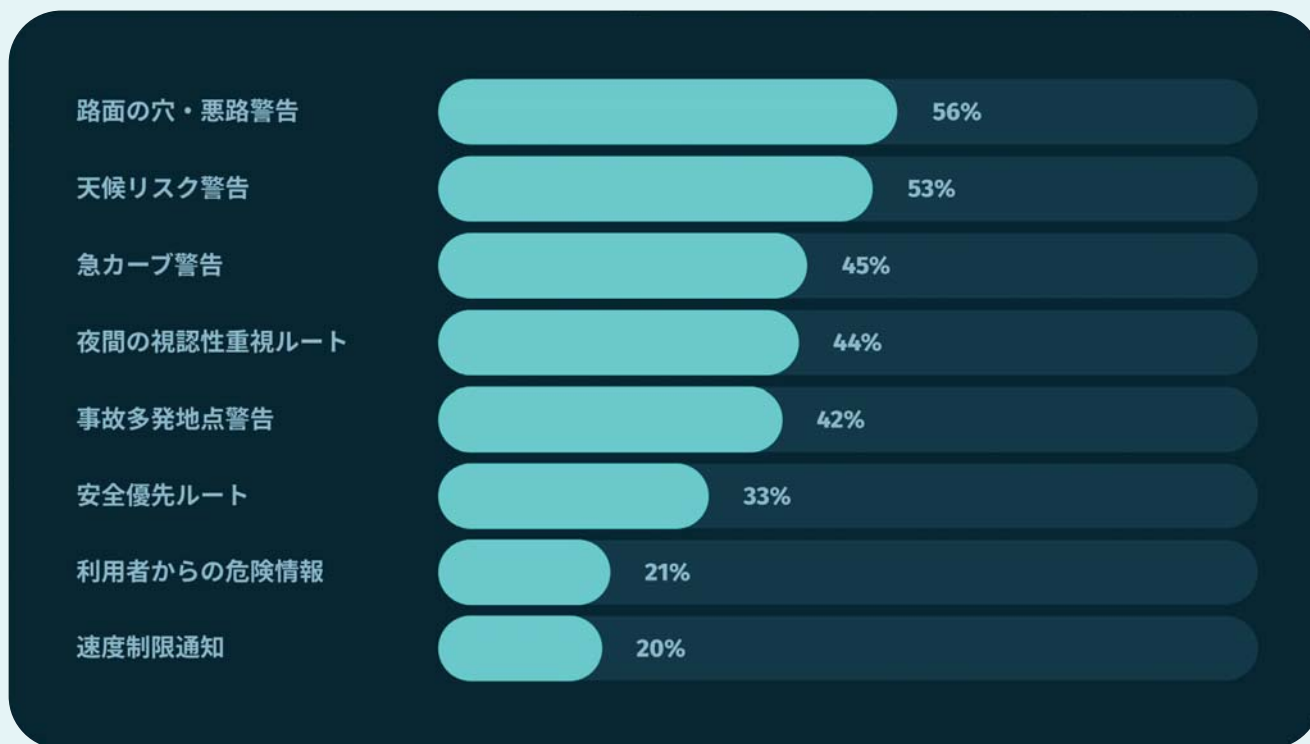


### ギグワーカーおよび配送ライダーへの影響

ギグワーカーや配送ライダーは、仕事をスムーズに進めるために、正確で最新の情報を反映したナビゲーションに大きく頼っています。ルーティングの品質、移動時間予測、正確な位置情報に不備があると、遅延が発生し、収入の減少や配送体験の低下につながります。このような理由から、不適切なルーティングによる遅延が最大の課題として挙げられ、次いで移動時間予測の不正確さ、建物の入口を見つけにくいことが二番目および三番目の課題として位置付けられています。

## 安全関連の地図機能に対する二輪ライダーの嗜好

二輪ライダーは、安全に走行するために、道路インフラとデジタルガイダンスの両方に依存しています。視認性が低下したり標識が不明確になったりすると、頼れる情報が減り、安心感は低下します。そのため、事故多発地点の警告や、より安全なルートを提案する機能など、事前に注意を促す機能が、リスクを予測するうえで特に有効です。



## 配送ライダー特有のニーズ

日本の配送ライダーの間では、最適な複数地点ルーティングが最も重視されており、31%の二輪ライダーがこれを最優先事項として選択しています。次いで、より安全なルート提案が20%、正確なETAが19%となっており、これらが多くの配送をこなす環境下で二輪ライダーを支える第二の要件群を形成しています。



また、調査対象となった二輪ライダーが新しい二輪車を選ぶ際には、実用性を重視する観点が明確に表れています。75%が価格と手頃さを最も重視しており、65%が燃費性能と航続距離を優先事項として挙げています。さらに、21%の二輪ライダーは、ナビゲーション性能が、新しい二輪車の購入検討時に影響すると回答しており、ナビゲーション機能が購買判断の一要素として組み込まれつつあることが分かります。

# 本調査から見えてきた APAC二輪モビリティの今後

本地域では、都市化、デジタル化、電動化がこれまでにないスピードで進む中、二輪車は依然として、数億人にとって日常の移動やラストマイル物流を支える中核的な存在となっています。本調査の結果から、二輪ライダーは安全性、効率性、そして生計を支える手段として、ナビゲーションへの依存を強めていることが明らかになりました。一方で、データ精度、二輪車に特化したルーティング、走行中の二輪ライダーを支えるデジタルサービスにおいて、依然として大きな課題が残されていることも示されています。

利便性、安全性、生産性に対する期待の高まりは、二輪ライダーがロケーションテクノロジーとどのように関わるかを大きく変えつつあります。EVの普及が進み、ギグワークが拡大し、主要都市での渋滞が深刻化する中、二輪モビリティの将来は、こうしたニーズに対してエコシステム全体がどれだけ効果的に応えられるかにかかっています。本調査の主要な示唆は、APAC地域における二輪モビリティの変革を支えるための以下の方向性を示しています。

## → 二輪ライダーの行動や二輪モビリティ特有の移動パターンをリアルタイムで反映するナビゲーションの構築

日常の移動において二輪ライダーが利用する近道、裏道、非公式な道路、狭い路地、渋滞のボトルネックなどを考慮したルーティングシステムを構築することで、誤った案内や配送ミスを大幅に減らし、特にギグワーカーや配送ライダーのストレス軽減につながります。

## → 地図データの信頼性とラストマイル精度の強化による安心感の向上

高い整合性を備えた地図データ、最新かつ網羅的なPOI情報、正確な入口情報、そして測位の信頼性向上は、各市場で共通して見られた主要な課題への対応に不可欠です。より正確な位置把握とリアルタイムなリルートにより、混雑し複雑な都市環境においても、安全で予測可能な走行が可能になります。

→ **危険インテリジェンス、状況把握の向上、文脈に応じた  
ガイダンスによる安全性の向上**

調査対象の二輪ライダーは、路面の穴、視界不良、大型車両、予測しにくい交通状況に伴うリスクを一貫して指摘しています。  
ナビゲーションは、危険予知、レーンレベルでのナビゲーションを通じた分かりやすさの向上、リスク警告や夜間走行時の注意喚起を通じて、より良い意思決定を支える方向へ進化する必要があります。

→ **二輪EV対応ルーティング、充電インテリジェンス、  
コネクテッド機能による電動化への移行支援**

APAC地域では、調査対象二輪ライダーの31%がすでに電動バイクや電動スクーターを所有しており、EV普及は加速しています。今後は、航続距離を考慮した信頼性の高いルーティング、検証済み充電ポイントへのアクセス、充電速度や空き状況、互換性を分かりやすく把握できる機能が求められます。通信コストの低下とコネクテッド機能の進化により、エントリーモデルにおいてもナビゲーション機能が利用しやすくなっています。

電動二輪車が一般用途と配送用途の双方で拡大する中、エネルギー効率の向上、メンテナンス負担の軽減、バッテリー利用を最適化する賢いルーティングによって、総所有コスト(TCO)の低下が期待されます。EV向けナビゲーションエコシステムの強化は、航続距離への不安を軽減し、日常の通勤や配送業務において、電動二輪車をより現実的な選択肢となるでしょう。

→ **最適化されたタスクルーティングと高精度なETAによる  
配送業務の効率化**

配送ライダーにとっては、ナビゲーション性能が収入に直結します。より正確なETA、交通状況を考慮したルートおよび配送順序、迅速なラストマイル案内は、生産性向上と疲労やリスクの軽減に貢献します。精度、安全性、二輪車特化ルーティングを重視することで、APAC地域全体で何百万人もの二輪ライダー体験を向上させることができます。モビリティへの期待が進化する中、単に地点Aから地点Bへ案内するだけでなく、二輪ライダーの安全性、収入、生活の質を高めるナビゲーションおよびロケーションサービスを構築する意義は、極めて大きいと言えます。



# ロケーションインテリジェンスで、 スマートなモビリティを 共創しましょう。

お問い合わせください

## HERE Technologiesについて

HERE Technologiesは、マッピングとロケーションテクノロジーのグローバルリーダーです。1985年に世界初のデジタルマップを発表して以来、40年以上にわたり、数多くのグローバル企業のイノベーションを支えてきました。現在は、ソフトウェア定義車両 (SDV) の未来を形づくる取り組みの中で、最新かつ高品質な統合マップと、多様な業界ニーズに応える幅広い製品・サービスを提供しています。HEREの技術は、さまざまなモビリティ分野に新たな価値と可能性を提供しています。詳細は [here.com](https://here.com) をご覧ください。

## Point Consultingについて

Point Consultingは、マッピング、ロケーションデータ、地理空間技術に特化した専門アドバイザーファームです。同社は、独立したベンチマーキング、品質評価、調査、マーケットインテリジェンスを提供し、企業が自社のマッピング、ナビゲーション、ロケーションプラットフォームを評価し、最適化することを支援しています。15年以上にわたり、世界有数のプロバイダーやエンタープライズ企業と協業してきた実績を持ち、より良い製品判断の実現、データ品質の向上、そして効果的な市場展開戦略の策定を可能にしています。

## 免責事項

本書は情報提供のみを目的としており、発行日時点におけるHERE Technologiesの見解を示すものです。商業的または技術的な助言を構成するものではありません。内容の正確性について合理的な配慮を行っていますが、HEREは情報の完全性や信頼性を保証するものではありません。HEREは、予告なく本書の内容を更新または撤回する場合があります。将来に関する記述にはリスクや不確実性が伴い、実際の結果が記載内容と異なる可能性があります。